



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人
カトリック福岡司教区
編集人 山元 真
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

7月の意向

【教皇様の意向のために祈りましょう】
【教皇の意向】聖体を中心に据えた生活
【日本の教会】家族の絆

8月6日〜15日 日本カトリック平和旬間
平和を祈る・平和のために働く
福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教

平和は神の望み

5年前、大阪大司教区の前田万葉大司教が枢機卿に任命された時に、私は大阪の補佐司教に任命されました。その時、いくつかの外国のマスメディア機関が日本の新しい枢機卿の取材に訪れ、その度に私は通訳を務めました。取材の時に必ず出てきたテーマは平和でした。前田枢機卿は、平和への働きが神様の望みであり、それは、原爆を体験した唯一の国である日本と、日本の教会の大切な使命であることを強調されました。このテーマについて語る時は、前田枢機卿の声に特別に力が入りましたので、記者たちには、日本の教会にとって平和の働きがどれだけ大事なかが伝わるだろうと感じました。

平和の基礎

平和の基礎は、一人ひとりの人間の尊厳を認め、それを守ることにあります。それは「排除の無い世界を求めて」は、最近よく繰り返されるモットーです。それは平和な世界を築くための基礎だからです。そのためにはまず、自身の中に存在する、人を排除する誘惑に気づき、それを乗り越えていく力を謙虚に願うことです。そして、社会の中で、また、世界のあらゆる

ここで、排除され苦しんでいる人々を心につけて、人と人を結び強い絆を育てていくよう働く決意を改めることです。

今年の平和旬間

福岡教区では、以前から平和旬間における取り組みに力が注がれていました。毎年のプログラムを振り返ってみますと、平和を求める多くの人々の心が伝わってきます。様々な企画を立てて、実現するために貢献された方々の働きは尊いものでした。

二日市教会 新聖堂献堂式

夫れ筑紫国は、とおくちかく朝(もう)で届(いた)る所、
未来(ゆきき)の関門(せきと)にする所なり。



5月28日(日)午後3時、教会の始まりを記念する聖霊降臨の主日に、二日市教会(太宰府市朱雀、主任・竹内英次神父)の新聖堂献堂式が厳かに挙行された。オルガン奏楽の中を筑後地区の司祭と歴代の主任司祭等10人、そしてヨゼフ・アベイヤ司教が入堂して式が始まった。式には二日市教会の信徒、筑後地区各小教会の代表、招待客など130人が参列し、心をひと

時の話題

家族と教会が
信仰の絆をつないでいく

物心ついた時から「祈り」がありました。熊本に祖父母の家にいくと就寝前に家族皆でロザリオの祈りを唱え、日曜日には親戚皆が揃って教会に行く。そして私たちが帰る前には、無事を祈って皆でお祈りをしました。当然のことですが、「日曜日には教会へ行く」習慣がありました。日曜の朝と言えど人気が二重に戦隊モノ番組。子どもには特別な日です。しかし幼少期の私には憂鬱でした。「観たいテレビがあるのに、なぜ教会に行かないとだめなの」と泣きじゃくる私に、父は「日曜日から教会に行くんだ」と言っ

フランス・パリの「ゴシック建築の至宝」と呼ばれるサント・シャペルという教会を訪れた。感動の数々に圧倒される中で特に心に残ったのは、そのステンドグラスである。空にそびえるように見える十五枚のガラス窓に、旧新約聖書の計1113の場面が美しく描写されている。「創世記」や「出エジプト記」、また最も重要な「キリスト受難」などイエスの復活までの人類の歴史が目の前に広がる。それぞれの窓があまりにも高すぎて、上にある絵を見るために目を細める人が少なくないが、下から絵を一つひとつ見ていくと、話の筋がちゃんと理解できるように作られている。中世のヨーロッパで聖書は一般の人たちが理解できないラテン語訳しかなく、また文字を読めない人が多く、イエスの一生や聖書に書いてある出来事などをより多くの人に伝えるために、「絵」という方法が一番手っ取り早かったそうである。従って、ステンドグラスは装飾的な側面のほか、聖書の内容を人々に教える実用的な役割もあつた。キリスト教は「言」(ことば)の宗教であると同時に「絵」の宗教とも言えるだろう。二千年以上の歴史の中でイエスを十字架や魚の象徴記号で示したり、十字架の道行きを第一留第十四留で描いたりしてきた。死んだイエスが十字架から降ろされ、聖母マリアに抱かれていく「ピエタ」(イタリア語で「哀れみ」「慈悲」という場面も典型的な例。帰国してから教会内のステンドグラスなどの「絵」を改めて観ることにしている。新たな発見につながる期待を込めて。(E)

日本カトリック平和旬間賛同企画
福岡教区主催
2023 平和を祈る集い

日本のカトリック教会は、聖ヨハネ・パウロ二世教皇来日翌年の1982年、広島や長崎の事実を思い起こすのに適した8月6日から15日までの10日間を「日本カトリック平和旬間」と定めました。今年も、福岡教区主催で「平和を祈る集い」が開催されます。(ライブ配信有り)
開催日：8月11日(金曜日・山の日)
場所：カトリック大名町教会
＜内容＞
午前：第1部 子どもたちの作文発表会
テーマ「平和への思い」
午後：第2部 講演会
第3部 インターナショナルミサ
主司式 ヨゼフ・アベイヤ司教
※詳細は教区HPまたは左記QRコードから。

平成29年7月九州北部豪雨から6年
令和2年7月豪雨から3年

2017年7月、福岡県と大分県に、そして2020年7月、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨。今もなお、悲しみ、苦しみ、不安のうちに生活を送られている方のために、キリストが共にいてくださるを、私たちが証しできますように。

新聖堂 二日市教会教会
つにして、すべてを導かれた神に賛美と感謝を捧げた。
司教は説教の中で、「ここでイエスのように生きる力をいただき、その恵みを分かち合う。また、門を開き多くの人に安らぎを与える。そういう場となつて欲しい」と願った。続いて祝別式に移り、キリストの象徴である祭壇と、聖堂の柱に、それぞれ聖香油が塗油され、ろうそくに光が灯された。この後、6人の堅信式が行われ、引き続き、ミサが捧げられた。
新聖堂建設の歩みは2005年頃から。経年劣化で雨漏りが酷くなつてきたため、2010年、当時の主任司祭・川上惣一神父(小郡・鳥栖教会主任)の指導で建設委員会を立ち上げ、教会建設の準備に着手した。その後、平田三好神父(武蔵ヶ丘教会

一カトリック二日市教会一

1950(昭和25)年当時、二日市近辺から春日原には進駐軍が多く、「教会をつくってほしい」との要望を受けた深堀仙右衛門司教は小教区設立を決め、1951(昭和26)年1月に教会工事を着工。4月1日 未完成のまま平田勇神父が初代主任司祭として着任し、7月8日献堂式が挙行された。1955(昭和30)年頃から教会をとりまく環境は、人口・車両の増加に伴い騒々しいものになり、1972年から教会移転の協議がなされ現在の土地に新聖堂を献堂。落成式が、1974年5月29日に平田三郎司教司式で挙行された。1992(平成4)年には、信徒が熱望してきた納骨堂が教会内に建設され、2001(平成13)年には創立50周年を迎えた。
現在、二日市教会の在籍信徒数は536人(2022年教区現勢報告より)

第2回 福岡教区宣教司牧評議会

6月18日(日)に第2回福岡教区宣教司牧評議会が大名町教会にて開催された。参加者全員で聖歌を歌い、みことばを聞き、沈黙のうちに祈りを捧げて始まった。

最初に各地区・修女連からの報告があったが、どこからもコロナ禍で自粛していた行事再開予定の報告があり、少しずつだが教会活動が活発化している手応えを感じた。

続いて、教区の五つの委員



分かち合いで出たアイデアを発表する参加者

会より報告があった。8月11日に開催予定の「平和を祈る集い」のプログラム紹介、秋に開催予定の「水俣・福岡展2023」に先立つプレイベントとして、大名町教会での講演会開催(9月16日(土)開催予定)の発表も行われた。休憩をはさみ、教区創立100周年についての話し合いが行われた。各地区から委員会メンバーを選出し、準備が進められる予定だが、今回は100周年を「どのような形で祝うか」「どのようなことをしたいか」という点に絞って、分かち合いを行いながら、アイデアを出し合った。

アイデアはたくさん出るだろうと思ったが、いざ始めてみると、なかなか出てこない。30分の分かち合いもあつという間に過ぎ、5〜6人のグループメンバーでアイデアは20に満たないものであった。その後各グループが発表を行ったが、どこも苦戦していた中、ひととき目を引いたのは外国籍の方のグループで、とにかく「楽しいもの」にしたいという思いに溢れ、信徒みんなが集えるようなダンスや歌のコンテスト、「100」にこだわった催しなどのアイデアが出された。

教区100周年の行事が単なるイベントで終わることなく、未来を担う子供たち・青年たちをサポートし、教会を離れた人々が再び共同体に戻り、そして宣教の一環になる事を、また、宣教司牧評議会を軸に、各地区での活動が活発化し、福岡教区共同体の船が立ち上がる難題を乗り越えていけるよう願う。

会議は、聖母マリアの取次ぎを願いながら「あめのきさき」を歌い閉会した。

報告 浄水通教会 中島冬樹

福岡教区宣教司牧方針を受けて

2022年4月、福岡教区の「宣教司牧方針」が発表されました。教区報では、「宣教司牧方針」を受け、各小教区や団体で取り組んでいること、心がけていることなどについて、具体的な活動を紹介しています。「宣教司牧方針」は右記QRコードからご覧になれます



司祭集会での学び

5月23日(火)、今年度最初の教区内全司祭集会が大名町教会で開かれた。テーマは、「難民移住者との関わり〜外国から来られた信徒の司牧〜」。これは、おもに教区の宣教司牧方針の1-(3)「様々な活動を通して神が望んでおられる社会を築いていくように努める」と3-(3)「外国から来られた信徒との交わりを深め、教区、地区、小教区の委員会や活動への参加を推進する」に当たる。



ビスカルドさん(右)と特別在留許可申請中の大学生

大阪教区「シナピス」のビスカルド篤子さんを講師として呼び、現在特別在留許可申請中の大学生、美幸さんにも、当事者の生の声を聞くために来ていただいた。シナピス(SINAPIS)とはラテン語で「からし種」という意味。大阪教区社会福音化部門の事務局で、人権の尊重と正義に基づく平和な世界の実現をめざして活動している。(シナピスのホームページより)

講話のテーマは「谷間におかれた人びとの心を生きたる教会をめざして〜大阪教区の新設計画に基づいた難民移住者とのかかわり〜」。「谷間におかれた人びと」とは法制度の保護の外におかれている人びとのこと。「谷間」におかれているので、その声は届かないことが多い。ビスカルドさんは日本(政府)の現在の難民認定制度の欠陥や人権意識の低さを指摘、これは政府や関係者だけでなく、広く日本人の意識の根底にある問題とも。また、宗教宗派にかかわらず、カトリック教会に助けを求める人びとが多く、それらの人々を社会につなげる活動が求められている。

続いて特別在留許可申請中の関東在住の大学生21歳の美幸さんの生の声を聞く。美幸さんの父親はある日突然に強制送還された。大学卒業後の生活に不安を抱いている。

司祭参加者からは、実際に活動している方の声、また、渦中にある学生の方の声には説得力があり、あらためて問題の重要性を認識した。司牧宣教の場で具体的に何ができるかを考え、実行していかなければならないことを再確認したという感想が聞かれた。

福岡教区司祭黙想会

仁川教区で日韓交流



黙想会に参加したアベイヤ司教と司祭団

6月5日(月)から9日(金)まで福岡教区司祭黙想会が韓国で開かれ、ヨゼフ・アベイヤ司教と13人の福岡教区司祭、教区で司牧宣教している6人の韓国教区司祭も参加した。

仁川(インチョン)甲申(カブゴン)の黙想の家が拠点。仁川に到着した初日は個人黙想の後、開会のミサ。二日目の6月6日(火)は仁川教区の創立記念日で教区聖体大会に参加。仁川教区長・鄭信喆(ジョン・シンチョル)司教主

式と司祭団のミサを共同司式した後、聖体行列に参加した。午後はカテドラルや教区資料館を訪問。その後仁川教区の宣教司牧の状況が各委員会担当司祭によって説明され、三つのグループに分かれて分かち合いの場がもたれた。夕食は懇親会で食卓を囲んだ。

三日目は午前中、韓国の福音宣教の歩みについて神学院の教授神父から講義を受けた。韓国の教会は殉教者に支えられて今があることを確認した。午後は教区の神学校を訪問。韓国の教会も司祭召命は大きく減少している。夕方は櫻井尚明神父(手取・帯山教会主任)の講話。櫻井神父

はミサ、ご聖体に対する思いを率直に語り、参列者に振り返りのヒントを与えた。四日目はバスで3時間の移動。大田(テジョン)教区ソルメ殉教地でのミサはアベイヤ司教主司式で日本語で行われ、現地の信者も参加した。さらにはソウルの窃頭山聖地を巡礼し、その地の納骨堂に埋葬されている2018年10月8日に福岡教区で帰天された李昇炫(イ・スンヒョン)神父の墓参りをした。その場にはイ神父の母親と弟、2歳の姪も来てくださった。

最終日の午前中は個人黙想。感謝ミサ後にアベイヤ司教は「霊性と交わりを深め、宣教司牧方針を深めるいい機会になったと思う。『わたしを愛しているか』とのイエスの言葉に込め、委ねられた人々の世話をする決意を新たにしたい。信者の皆さんと一緒に、ぶどうの樹につながつて豊かな実を結ぶことを期待する」とまとめた。午後帰路につき9日夜、無事に帰福した。

今回の黙想会を教区の他の韓国人司祭と入念に準備した徐仁徳(ソ・インドック)神父(仁川教区司祭・戸畑・若松教会主任)は「神と人々の愛を深く感じた。これから神の愛の使者として前進していきたい」と述べ、参加者の一人、谷口尚志神父(水巻教会主任)は「数のことなど気にしないで、キリストを伝え、仕える司祭職の原点を大切に、常に喜びをもって元気に歩みたい」と決意を表した。

韓国仁川教区から司教・司祭団来福

戸畑教会で記念ミサ

主任司祭の徐仁徳神父が所属する仁川教区のヨハネ・ジョン・シンチョル司教他司

祭5人が来られると聞き驚きました。おもてなしについて思いをめぐらし、近くの教会



若松天使園の子どもたちと一緒に記念撮影

へも呼びかけました。信者から「横断幕を用意しましょう」と声があがり、「ハンゲルで」と、どんな具体的なになりました。当日は福岡からヨゼフ・アベイヤ司教他1人の司祭も来られ、徐神父含め総勢9人

でのミサとなりました。初めての韓国語のミサは徐神父の通訳で進行し新鮮でした。言葉は通じなくとも温かく心に残るミサとなりました。平日にも関わらず、聖堂には若松天使園の園児をはじめ、小倉、黒崎、若松、戸畑の信者が集い、感謝でした。ミサ後、信徒会館での会食は温かな交わりでした。「ようこそ」の横断幕と声掛けに、ジョン司教はとても喜ばれ、私たちも幸せな気持ちになりました。日本に司祭を派遣してくださったお礼を伝えました。ジョン司教も皆さまも笑顔があふれ、楽しそうなお話に、元気をいただきました。

報告 戸畑教会 久門克代

障がい者に関するアンケート結果報告

愛あるサポートを願って

4月、各小教区に「障がい者に関するアンケート」を実施しました。回答(29通)へのお礼を申し上げるとともに結果をまとめて報告します。

ほとんどの教会に、運動や視覚、聴覚に障がいのある人に必要な設備や器具が備えられています。しかし、身体に障がいのある信者はあまり教会を訪れていないようです。迷惑をかけたくないという考えがあるためと思われる。教会の中で援助を求められると、身近な信徒が手助けしますが、特別なサービスを提供する教会は少ないようです。

多くの場合、障がい者は典礼に参加するだけでよいと考えられています。障がい者と健全者がともにグループをつくるのが望ましいのですが、大多数の信者にとって障がい者への配慮は優先事項ではないようです。

教会は、信仰と愛のビジョンを持つて人々をサポートすることができず、イエスは、病氣や障がいを持つ人々に特に敏感でした。教会もイエスが人々に行なったことを引

最後に、「日本カトリック障害者連絡協議会(力障連)」が10月14、15日に長崎で3年に一度の総会を開きます。関心のある方はぜひ登録して参加してみてください。

※日本カトリック障害者連絡協議会(力障連)は1982年に発足したカトリック教会の中にある障害者団体の横の連絡機関です。福岡教区社会福音化委員会

障がい者部門担当 シルバノ・ダ・ロイト神父(菊池・山鹿教会)

福岡教区人事異動

教区直営事業

学校法人福岡カトリック学園 理事長 中村 彰神父(大名町教会主任)

サンパウロ 福岡宣教センター

営業時間: 10:00~18:00
定休日: 日曜日・祝日

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOUVENIR)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

知りたい！
福岡教区内の
修道会
宣教会⑮

福岡教区には現在 30 の修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。
昨春より紹介している、その修道会や宣教会。第 15 回は、カルメル山の聖母修道院です。

女子跣足カルメル修道会
福岡カルメル山の聖母修道院

カルメル(=神の果樹園)には「私がそのみ前に立つ万軍の神、主は生きておられる！」と叫ぶ火のような預言者エリヤに従って弟子たちが住んでいたと旧約聖書に記されています。

預言者エリヤとカルメル山の聖母



新約になってカルメル山の泉の側でエリヤの精神を継いで隠遁生活を送る修道士たちがいて「カルメル山のおとめマリアの兄弟」と呼ばれていました。会則を与えられて正式の修道会となり、聖地の紛争のためにヨーロッパに移り、ペストの大流行の後で会則が緩和されました。イエスの聖テレサが会を改革し、原始会則を取り戻しました。跣足カルメル会と呼ばれる隠世修道会です。教会は女子の跣足カルメル会に外的宣教活動を禁じ、ひたすら祈りと犠牲を捧げるよう求めています。教会のうちで、自分を捧げつくして祈らなければならないことには山のようにあります。「娘たちよ、世はまるで火事のようなではありませんか！」(聖テレサ)。

宣教に携わる兄弟たちと一つ心で祈り、現代社会の問題も苦しみもすべて背負って、沈黙のうちに神様のみに心を訴えて恵みを乞い求めることが教会からカルメル会に託された「使命」だと思っています。

福岡のカルメル会は 1951 年、深堀仙衛門司教様から招かれ、司祭のため、司祭養成のために祈るように願われて神学院のお隣にベルギー、ブルージュのカルメル会によって創立されました。当時、神学院は創立まもなく 70 人以上の神学生がおられ、カナダ人の若い教授方が次々に来日、活気に満ちていて、多くの司祭方が誕生されました。神様が教区に多くの召命のお恵みを与えてくださいますように。

今、司教様を中心に進められる教区の歩みに、何もできないのですが、いつも祈りと日々の生活の中で深く心を合わせております。

院長 Sr. 市田美子

終生誓願から 70 年 ダイヤモンド祝を迎えて Sr. 市田美子

今年 3 月 25 日に初誓願から 70 年、夢のように過ぎ去りました。記念のカードは昔の壁画のイエス様の洗足を選びました。ヨハネ 13 章 1 節に「イエスはこの世から父のもとに移るときが来たことを知り、世にいる弟子たちを愛し、極みまで愛し抜かれた」とあります。そして、ご自分を裏切る弟子、見捨てて逃げてしまう弟子たちの前にひざまづき、心を込め、極みまでの愛を尽くして、一人ひとりの足をお洗いになり「互いに愛し合いなさい。私があなたたちを愛したように」とおっしゃいます。イエス様の愛、洗足の先は十字架です。イエス様の遺言を生きようと切に求めながら奉獻者の一生が捧げられますように。どうか日々、御憐みをもってお助けください！

5 月 27 日(土)、マキシミアノ・マリア・コルベ桑原篤史助祭の司祭叙階式が、カテドラル大名町教会にてヨゼフ・アベイヤ司教主司式のもと行われた。コロナ5 類移行に伴い入場制限は解除され、司祭団 57 人、修道者、信徒等約 600 人が参集した聖堂に鐘の音とパイプオルガンが鳴り響き、アベイヤ司教と桑原助祭が待者と共に入堂した。み言葉の祭儀の後、叙階の儀に入り、まず司祭になることが相応しいとする証言が信



アベイヤ司教に笑顔で応える桑原新司祭

新司祭誕生！
聖アウグスチノ修道会司祭叙階式

徒代表によってなされ、アベイヤ司教は桑原助祭を司祭団に加えることを宣言した。会衆は「神に感謝」と応え、会場は温かな拍手に包まれた。続いて、司教が、助祭の家族や聖アウグスチノ修道会、関係者、そして参列者と YouTube 配信を通して参加している人等に祝辞を述べ、助祭に「篤史君、召し出しに生きるの恵みです。イエスに倣い司祭としての使命を全うしてください」と訓話した。そして助祭は「司祭に叙階される者の約束」を行い、「諸聖人の連願」の後、司教と司祭団による按手と、司教の叙階の祈りにより晴れて司祭叙階の恵みに与かった。司教は、祭服に着替えた新司祭の手に聖香油を塗り、聖別し、ミサに用いるパテナとカリスを授与した。その後感謝の祭儀に入り、新司祭は共同司式者として祭儀に加わった。

拝領祈願後に行われた祝賀式典では、司祭団を代表し、聖アウグスチノ修道会ヴィラノヴァの聖トマス管区長ロブ・ヘーガン神父が祝辞を述べた。次に笹丘教会・信徒会長辻部大介氏が「司祭叙階の恵みを受けて、私たちがイエスの元で導いてくださる慕わしい方となられた篤史神父様を、せて人間界的な雑事では支えたいです」と祝意を贈った。続いて花束が贈呈され、新司祭は「アベイヤ司教様、ご参列の方々、YouTube でご覧の方、教区関係の皆様、これまで祈りと励まして支えてくださった全ての方々に心から感謝します。特にコロナ禍で会えない間、オンラインで一緒に祈りを捧げてくれた家族に感謝します」と挨拶した。

最後にアベイヤ司教は、共同司式をした聖アウグスチノ修道会の司祭団へ「新司祭をしばらくの間、福岡教区から取り去らないでください」と話して会場を沸かせた。そして新司祭と会衆のための荘厳な祝福があり閉会した。続いて、新司祭の祝福があり、新司祭と司教を中心に司祭団の写真撮影が行われた。その後は 1 階の講堂に場所を移し、新司祭の赴任地となる笹丘教会の信徒が中心となり祝賀会が行われた。世界各地の聖アウグスチノ修道会会員や福岡教区以外の司祭・助祭・神学生が祝辞を述べたり、新司祭の同級生によるサブライズビデオ上映会、駆けつけた出身教会や東京・名古屋からのグループらが紹介された。そして最後は「笹丘ファミリア合唱団」の歌のプレゼントで散会となった。

桑原新司祭は福岡教区黒崎教会出身。少年時代は同教会学校や侍者としても活動。趣味はスポーツ全般と語るように、学生時代はラグビー部で活躍していた。母・文子さんは「はつきり言って『悪そう』でした」と苦笑しながらも「司祭になる準備は色々していたようでしたので、いよいよこの日が来たかという思いです」と胸の内を静かに吐露した。

厳な祝福があり閉会した。続いて、新司祭の祝福があり、新司祭と司教を中心に司祭団の写真撮影が行われた。その後は 1 階の講堂に場所を移し、新司祭の赴任地となる笹丘教会の信徒が中心となり祝賀会が行われた。世界各地の聖アウグスチノ修道会会員や福岡教区以外の司祭・助祭・神学生が祝辞を述べたり、新司祭の同級生によるサブライズビデオ上映会、駆けつけた出身教会や東京・名古屋からのグループらが紹介された。そして最後は「笹丘ファミリア合唱団」の歌のプレゼントで散会となった。

桑原新司祭は福岡教区黒崎教会出身。少年時代は同教会学校や侍者としても活動。趣味はスポーツ全般と語るように、学生時代はラグビー部で活躍していた。母・文子さんは「はつきり言って『悪そう』でした」と苦笑しながらも「司祭になる準備は色々していたようでしたので、いよいよこの日が来たかという思いです」と胸の内を静かに吐露した。

佐賀地区宣教司牧評議会・信徒研修会
神さまの無償の愛を感じて



いつも大きな笑い声が響く西神父(右)の講話

モアを交えて笑いを誘いながらの研修会となった。西神父は「生まれたばかりの赤ちゃんは何もできないけど、親は『いい子だね』と言うでしょう？それは、テストで良い点数を取ったからとか、走るのが速いからとか理由があるわけではないでしょう。それこそが無償の愛です。神様が私たちを愛してくださるのも同じことです。」と話され、それなのに私たちは他の人と競争したり比べたりしてしまう

「信仰の先達」が示した証しを再確認
福者アダム荒川殉教祭が 3 年ぶりに開催



古巣神父(左)の話に耳を傾ける参加者

6 月 4 日(日) 梅雨の晴れ間、福者アダム荒川殉教祭が大江教会で行われた。福者の遺徳を偲び、執り成しを願う記念ミサの前に、長崎大司教区の古巣馨神父による「これは、わたしも受けたものです」の表題で講演会が行われた。講演の中で、天草を去るガルス神父がアダム荒川にかけた「あとはお前に任せなさい」の言葉が印象的だった。アダムは島原の有馬で刃傷沙汰により打ち首になるところをモラ神父に救われて受洗。アダム・生きるもの」になりガルス神父に頼りにされた。さらに、明治の激動期を生き、お告げのマリア修道会の礎となった岩永マキ他 3 人の生涯について話が聞いた。岩永マキらは、長崎での最後の

ことを戒めた。また「天に昇られたイエス様はどこにいらっしゃるのですか？見上げる空の上ですか？それならブラジルから見たら地底ですかね」と冗談を交えながら、イエス様は私たちとともにどこにでもおられると諭された。参加した信徒は「とても良いお話を聴くことができた」「教会の研修会でこんなに笑ったのは初めて」「また西神父様に来ていた、だいて話を聴きたい。できたら本も買って読みたい」などと感想を話し、充実した研修会となった。報告 伊万里教会・吉浦建次

☆サバンナの風に魅せられて
—アフリカのイエス患者と歩んだ 30 年— 徳永瑞子(著)

看護師、助産師として長年アフリカで医療活動に携わってきた著者が贈るエッセイ集。死にゆくエイズ患者とその遺児たち、内戦で逃げまどった時の恐怖、そして忘れ得ぬ人々との思い出。今の私たちが忘れてしまった大切な「何か」を教えてください。

サンパウロ社発行
税込価格 1870 円

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護者の皆さん
一緒に働いてみませんか

URL : <http://www.st-mary-med.or.jp/>

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

年間目標 出向いて行く教会となる

福岡教区主催「2023 平和を祈る集い」
俳句・短歌募集のご案内

「2023 平和を祈る集い」では、「平和」をテーマに俳句・短歌を募集しています。作品は当日、大名町教会講堂もしくはロビーに掲示します。(応募締め切り 2023 年 7 月 31 日)

【応募先】① 郵送の場合
〒810-0028 福岡市中央区浄水通 6-28
教区本部事務局
「平和を祈る集い 俳句・短歌 受付窓口」
② E メールの場合
広報室メールアドレス
cdf-kouhou@nifty.com
送信時件名:「平和を祈る集い 俳句・短歌」

サンパウロ福岡宣教センター (聖パウロ会)

サンパウロ福岡宣教センター (福岡市中央区赤坂 1-14-26) は 7 月から営業日、時間を変更します。

営業: 月曜日から土曜日 10:00-18:00
休業: 日曜日、祝祭日

シスターと一緒にイエス様の声をきいてみませんか
～来てみんしゃい!!～

【日 時】7 月 16 日 (日) 12 時 30 分～16 時 30 分
(昼食を一緒にいただいて、おやつで終了)
【場 所】福岡市南区塩原 4 丁目 25-20
聖心のウルスラ宣教女修道会 福岡修道院
【対 象】高校生以上の独身者 (中学生は要相談)
【締切り】7 月 9 日 (日)
【問合せ先】TEL092-512-0033 (Sr. 水田)

聖母の両親 聖ヨアキムと聖アンナ記念日のミサ

【日 時】7 月 26 日 (水) 14 時～
【場 所】カトリック浄水通教会
【ミ サ】主司式 ヨゼフ・アペイヤ司教
【問合せ先】TEL090-9568-0076 野川

— みことばのお弁当 —

第 4 回「みなが聖とされますように」
日時: 7 月 27 日 (木) 10 時～13 時
場所: 大濠カトリック会館
問合せ先: 092-753-6765 (大濠会館)

※お弁当は各自持参で

— お詫びと訂正 —

教区報 7 月号 2 面 2022 年教区現勢報告・老司教会復活祭ミサ参加者数 × 11 人 ⇒ ○ 111 人
謹んでお詫びし訂正をいたします。



福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

【北九州】北九州召命を共に祈る会 (日時) 7 月 13 日 (木) 14 時
谷口尚志神父 (水巻教会主任、徐仁徳神父 (戸畑・若松教会主任) 共同司式によるミサと茶話会 (場所) 小倉教会 (問合せ先) 090-949-244

◆ 北九州

【熊本】熊本地区召命を共に祈る会 (日時) 7 月 10 日 (月) 9 時 50 分
分クザリオ・召命祈願ミサ (場所) 手取教会 (問合せ先) 090-699-7900 大津・崎津・本渡教会主任、浦川務神父

教区報 8 月号の発行日について

教区報 8 月号は 8 月 2 日に発送予定ですが、お届けが通常より遅れますが、ご了承ください。なお、9 月号は休刊となりますので、8・9 月の集いの掲載申込は 7 月 15 日までに広報室にご連絡ください。

編集後記

現在「平和を祈る集い」でまだ募集中の俳句・短歌ですが、応募作に感動！私にも心

案内板 会合と催し

7 月のこよみ

カトリック福岡地区青年会主催: FYCC17
☆ COME! カモ〜ン☆

FYCC (Fukuoka Youth Catholic Camp) が開催されます
【日 時】2023 年 8 月 12 日 (土)～8 月 13 日 (日)
【場 所】大濠カトリック会館 (福岡市中央区大濠 1-7-14)
【対 象】福岡教区の中高校生
【参加費】1,500 円
(兄弟姉妹割 2 人目から 1,000 円)
【申し込み】右記 QR コードからお申し込みください。
【申し込み締め切り】7 月 23 日 (日)
【問合せ】catholic.fukuoka_chuukousei@yahoo.co.jp
※詳細は教区報ホームページよりお確かめください。https://fukuoka.catholic.jp/information/202308fycc17/

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ: 聖性への招き
【日 時】7 月 13 日 (木) 10 時～15 時
【内 容】聖マキシミリアノ・マリア・コルベ
【指 導 者】園田善昭 (コンベンツアル聖フランシスコ修道会)
【次 回】9 月 14 日 (木) ※8 月はお休みです
【内 容】コルカタの聖テレサ
【指 導 者】Sr. マリア・デ・ジョルジ
【問い合わせ先】真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦 1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします (要予約)

【福岡】福岡ホスピスの会「がん」を通して人生を語る会「ぬくみカフェ」(日時) 7 月 22 日 (土) 14 時～16 時 30 分 (場所) サンパウロ福岡宣教センター 3 階 (問合せ先) 090-090-111 柴田

【福岡】福岡カルメル在世会 (日時) 7 月 22 日 (土) 10 時半～ (場所) 今宿聖母修道院 (問合せ先) 090-090-9079 6

【福岡】福岡チエナクルム (日時) 7 月 19 日 (水) 10 時～ (場所) 大楠教会 (問合せ先) 090-5021-5907 菊池

【福岡】福岡地区召命を共に祈る会 (日時) 7 月 18 日 (火) 13 時 30 分～15 時 30 分 (場所) 大名町教会・小聖堂 (場所) 大名町教会・小聖堂

【福岡】福岡地区召命を共に祈る会 (日時) 7 月 8 日 (土) 9 時～ (場所) 高宮教会 (問合せ先) 090-5266-9048 秦

【福岡】福岡地区召命を共に祈る会 (日時) 7 月 1 日 (土) 14 時 (場所) 美野島司牧センター (問合せ先) 090-090-6775 青木

【福岡】福岡地区召命を共に祈る会 (日時) 7 月 1 日 (土) 14 時 (場所) 美野島司牧センター (問合せ先) 090-090-6775 青木

【福岡】福岡地区召命を共に祈る会 (日時) 7 月 1 日 (土) 14 時 (場所) 美野島司牧センター (問合せ先) 090-090-6775 青木

内容詳細は各問合せ先にお尋ねください。

福岡

CỘNG ĐOÀN CÔNG GIÁO VIỆT NAM TẠI NHÀ THỜ TETORI
手取教会でのベトナム共同体の歩み

Sr. Bich Trang, fmm (Franciscan Missionaries of Mary)

Từ năm 2012 đã có những du học sinh đầu tiên đến Kumamoto, tham dự thánh lễ tiếng Nhật ở nhà thờ Tettori. Năm 2014, cha Bernard Quang và một số anh chị em từ Fukuoka đến nhà thờ Tettori cùng dâng thánh lễ với 6 anh chị em du học sinh. Từ năm 2016 du học sinh và thực tập sinh tăng lên cách nhanh chóng. Nhận thấy nhu cầu cần thiết phải lập cộng đoàn để anh chị em chia sẻ đời sống đức tin, chúng con đã tạo trang Fb để liên lạc với nhau, vào ngày lễ Lá tháng 4 năm 2016 đã có rất đông anh chị em tham dự thánh lễ. Ngày 11 tháng 6 năm 2017, cộng đoàn Công Giáo Việt Nam tại Kumamoto chính thức thành lập nhận Mẹ Têrêsa Calcutta làm Bốn mạng với phương châm sống Hiệp Nhất - Yêu Thương.

2012 年、熊本に来ていた留学生が初めて手取教会で日本語のミサに参加しました。2014 年には福岡からバーナード・クアン神父と数人の兄弟姉妹が手取教会に来て、6 人の留学生とともにミサを祝いました。2016 年以降は留学生や技能実習生が急増し、信仰生活を分かち合うためのコミュニティを作る必要性を認識して Facebook を立ち上げました。2016 年 4 月の枝の主日には多くの兄弟姉妹が参加しました。2017 年 6 月 11 日、熊本のベトナム人カトリック共同体を正式に設立し、統一と愛をモットーにカルカッタのマザー・テレサを保護の聖人としてしました。

Từ đó đến nay hơn 7 năm qua mỗi tháng một lần đều có thánh lễ tiếng Việt trung bình khoảng 100 người tham dự. Cha xứ Tettori và giáo xứ luôn tiếp đón nồng hậu và tạo mọi điều kiện thuận lợi để chúng con có được thánh lễ tiếng Việt, sinh hoạt chung với nhau, làm hàng đá ngoài trời... Ngoài ra chúng con cũng tham gia các hoạt động của giáo xứ và nhận được nhiều sự giúp đỡ từ giáo xứ về vật chất và tinh thần. Chúng con tạ ơn Chúa và hết lòng biết ơn giáo xứ Tettori, cảm ơn quý cha đã dâng thánh lễ cùng tất cả mọi người. Xin tiếp tục cầu nguyện và đồng hành nâng đỡ chúng con.

以来、現在まで毎月 1 回ベトナム語のミサが捧げられ、平均約 100 人がミサに与っています。手取教会の司祭 (主任・櫻井尚明神父) と信徒の皆さんは私たちを温かく迎えてくださり、ベトナム語のミサだけではなく私たちの共同体を助けてくれています。また、私たちは教会のイベントや活動にも参加しています。



手取・ベトナムコミュニティの皆さま

手取教会からは物質的にも精神的にも支えていただき、神様に感謝するとともに教会の皆さんに心から感謝いたします。引き続きお祈りとサポートをよろしくお願い致します。

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金 (祝日を除く)
10:00～12:00 13:00～16:00

得があれば、このスペースで十分なのですが。(W)

私たちと一緒に
おはなしませんか?

安心してお話が出来る人
をお探しの方へ。

メール: hanahanahimawari2020@gmail.com
☎: 080-4735-6971 (9:00～21:00)
※対応できないとき
もあります。
※原則 1 回 30 分です。
LINE 右記
QR コード
—ぶろじえくとHana—
ぶろじえくとHanaは、社会福祉士・
看護師・シスターなどが在籍して
いる。礼拝会を中心としたグル
ープです。

10代～40代のみなさま
こんな悩みをお持ちではないですか?
相談は無料です。
必要に応じて専門機関の情報提供もい
たします。ひとりで悩まずに、お気軽に
ご相談ください。秘密は厳守します。